

9. センターのひろば

「とりとめのない話」

長年のセンター勤めのせいでしょう。それに加えてコンピュータの日進月歩のせいでしょう。コンピュータのあれこれが浮かんで消えるこのごろです。最近は計算機ではなくコンピュータ。スマートにコンピュータです。いやいやコンピュータでは大雑把。パソコン、ワークステーション、オフコンです。

子供はおうちでファミコン三昧。庭ではボチがさみしそう。なぜか好きになれなれないファミコンです。好きになれないではなく嫌いです。しかしファミコン世代に期待します。コンピュータアレルギーは無いでしょう。キーボードからの入力はいまいでしょう。マウスは上手に使うでしょう。

できたらな、というのが広報物のイメージスキャナでの備忘録作り。回覧されるとまず目次を見て、次には中身をばらばらとめくります。

参考にしたい情報がある場合、コンピュータに aa 大学 bb センター広報 cccc 年 Vol.dd. No.ee の入力です。そして目次の入力です。これが簡単にならないか。

まずメモしたい箇所をハンドスキャナでなぞります。そしてそのイメージデータのテキスト変換です。大きな文字も小さな文字もゴシック体も明朝体も変換します。マニュアルの管理にも電子メールにも使えます。

もうひとつ、できたらいいなというのが、カードを使った家計簿作り。

〇〇マートで買いものです。今は消費税も考えて一円玉まで用意します。レジの女性はこちらの手に触れないようにばらばらと、手につり銭を落します。(これはどうでもいいことです)。これがカードができる、、、

レジでカードを読ませます。家に帰ると家計簿作り。パソコンのカードリーダーでカードを読ませます。これで家計簿作りは終了です。レシートの転記はこれでさようなら。

おそまつ様でした。

(Y. 記)